

科目名	書道（書写）	
担当者	伊之口 芳至 / INOKUCHI, Yoshiyuki	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 実習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	実技をとおして教育書道、実用書道、芸術書道の接点と相違点を探る。
	到達目標	書道は、学校生活及び社会生活に必要な基礎的な教養であり、文字を正しく整えて書くことに重点が置かれる。高校や一般の芸術書道となると学習方法並びに学習指導は、表現（書くこと）鑑賞（見ること）と理論（考えること）の三位一体でなされるが、この授業では学習者が教育・実用・芸術書道の接点と相違を理解することにより書写能力を高め表現のための感性を磨くことを目標にしたい。
授業計画	(1) 漢字の学習 篆書を書く (2) 漢字の学習 隸書を書く (3) 漢字の学習 楷書を書く (4) 漢字の学習 行書を書く (5) 漢字の学習 草書を書く (6) 仮名の学習 平仮名の単体 (7) 仮名の学習 連綿の方法 (8) 仮名の学習 変体仮名の学習 (9) 仮名の学習 俳句を書く (10) 仮名の学習 短歌を書く (11) 落款と印 (12) 漢字仮名交じりの書 身近な言葉を書く (13) 漢字仮名交じりの書 近代詩文を書く (14) 手紙・年賀状・暑中見舞い・のし袋の書き方など (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・前回までの提出作品の確認と整理を行う。 ・前半に小レポートを課す。
使用教材・参考文献	【教】野口白汀ほか12名 『書Ⅰ』『書Ⅱ』教育図書2008年 【参】魚住和晃・萩信雄編『書学挙要』藝文書院2001年	
成績評価方法と基準	出席状況と提出作品、簡単なレポート、受講態度。 (作品70%、レポート10%、出席態度20%)	
備考	適宜手本や資料プリントを配布する。	